Web 資料表:ベンゾジアゼピン剤(BZDR剤)による感染症または肺炎リスクを検討した研究(まとめ)

文献	年	研究方法	比較群	規模	関連	ベンゾジアゼピン剤(BZDR剤)による感染症または肺炎リスク
Joya[2]	2009	the reservoir to the second se	睡眠剤*a	8,828	あり	睡眠剤のプラセボ対照RCT36件で感染症を比較。併合RR=1.44(1.25-1.64)
			プラセボ	4,383	4,383	サブ解析:エスゾピクロンRR=1.48(1.25-1.74).ゾルピデムRR=1.99 (1.21-3.26)
Chen[3]	2018	症例対照	肺炎,PMC	12,002	めり	全BZRAのOR=1.86(1.75-1.97), BZRA睡眠剤OR=2.42(2.16-2.71)、用量-反応関係あ
				12,002		り(図1参照)。短時間型ほど高リスク。
Obiora[4]	2012	症例対照+	肺炎,MC	4.964	70 (1	市中肺炎に対するBZRA剤のリスクOR=1.54 (1.42-1.67)、肺炎罹患後の死亡リス
		コホート	=1:6	29,697		ク:30日以内HR=1.22 (1.06-1.39),長期(平均2.8年追跡)HR=1.32 (1.19-1.47)
Jung[5]	2016	症例対照	肺炎,MC	51,029	10	65歳以上の肺炎に対する現在使用: BZD剤OR=1.28(1.23-1.33), Z剤OR=1.27 (1.18-
			=1:4	188,391		1.36)。短期使用(90日以下):BZ剤OR=1.69(1.58-1.80), Z剤OR=1.57(1.30-1.77)
Taipale[6]	2017	コホート	BZRA,PMC	8,501	あり	アルツハイマー患者群 肺炎による入院/死亡 全時期全BZRA剤HR=1.22 (1.05-
				8,501		1.42)、短期使用:BZ剤OR=2.09(1.26-3.48), Z剤OR=1.60(0.84-3.05)
Wang[7]	2017	症例対照	肺炎,MC	4,533	あり	CKD患者群における肺炎に対する全BZRA剤のOR=1.31 (1.18-1.46)、
			=1:4	16,388		短期使用(30日以下):OR=1.65(1.44-1.89)、新規使用:OR=2.47(2.02-3.03)
Vozoris[8]	2014	コホート	BZRA,PMC	48,915	あり	高齢COPD,外来患者、COPDまたは肺炎で救急室搬送RR=1.92 (1.69-2.18)
				48,915		
Almirall[9]	2008	症例対照	肺炎,MC	1,336	<i>t</i> >1	70項目以上の要因の一つとしてBZ剤のリスクを解析。
				1,326	なし	BZ剤の肺炎リスク:OR=0.94 (0.64-1.10)
Dublin [10]	2011	症例対照	肺炎,MC	1,039	7.	65才以上の肺炎に対するオピオイドとBZRAの危険度評価が目的。
			=1:2	2,022		BZRA剤の肺炎リスクOR=1.08(0.80-1.47)

*a: BZRA 剤睡眠剤 3 剤とラメルテオン。

BZ剤:ベンゾジアゼピン剤。Z剤:非ベンゾジアゼピン剤。BZRA:ベンゾジアゼピン受容体作動剤(BZ剤とZ剤)。

OR: オッズ比、**RR**: リスク比、**HR**: ハザード比、() 内は、95%信頼区間、

PMC:傾向スコア(propensity score)をマッチさせた対照群。 MC: 少なくとも性、年齢をマッチさせた対照群。